

平成28年度 第1回
滋賀県農村振興交付金制度審議会 会議概要

1. 開催日時・場所

平成28年6月28日（火） 午後2時00分～午後4時00分
滋賀県庁北新館3階中会議室

2. 出席委員（五十音順、敬称略）

越後宏規、大塚光子、日下部純子、田中仁史、中村貴子、畑中直樹、藤原正幸、
松下京平、森嶋利和

3. 議事等

○議事 中山間地域等直接支払交付金について

（1）平成27年度の実施状況について

事務局から資料1に基づき昨年度の実施状況について説明を受け、質疑応答や意見交換等を行い点検した結果、適切に実施されていたものと認めた。

主な質疑応答は以下のとおり

（委員）

県で策定している地域農業戦略指針は、どのような目的でどのような内容が決められているのか。

（事務局）

地域農業戦略指針は、地域での担い手を定めるだけでなく、その担い手を集落や土地持ち非農家がどのように支えていくのか話し合いを進めるためのツールとなっている。集落により事情は異なり、推進や指導方法が異なるため、地域や担い手の形態ごとに優良事例を調査し、集落の活性化に向けたノウハウを冊子にまとめている。その内容は、集落へのアンケート調査のひな形や認定農業者に集約するためのポイント等、地域の合意形成を促すためのヒントが記載されている。

（委員）

戦略指針は、各集落に配布されているのか。

（事務局）

集落には配布されていない。集落での話し合いを進めるために、指導する立場である県、市町、JAの担当者に配布している。

(委員)

第4期対策から、個人配分の一人あたりの受給額の上限が250万円まで引き上げられたが、滋賀ではこのような事例はあるのか。

(事務局)

滋賀県では、共同取組活動への配分が65%と割合が多く、地域住民で集落を守っていくという意識が強いことがうかがえる。このため、個人で250万円を受給されている例はないと思われる。

(委員)

第4期にかけて離脱された4集落については、集落連携・機能維持加算の対象となると思うが、県としてフォローやアプローチは何か考えているのか？

(事務局)

去る6月15～22日にかけて制度の推進に向けた市町との意見交換を行ったところである。平成28年度に改正された遡及返還の緩和規定については、市町と協力しながら既取組み集落への説明を行うとともに、取組みを断念された集落にも再び取り組んでいただけるよう改正点を説明している。

(委員)

各集落の高齢化は深刻な問題であると捉えているが、協定ごとの平均年齢により、取組活動に差はあるのか。

(事務局)

年齢分析まではできていない。市町との意見交換会で、ある集落は80代以上の高齢の方ばかりで、後継者も集落にはおらず、代々引き継いできた土地を維持管理されているという話を伺ったところである。中山間地域の維持はできても活性化に至るまでは難しいため、多賀町来栖等の優良事例を参考に啓発していきたいと考えている。

また、1集落1協定では事務作業も煩雑なため、今後は全国の優良事例を調査し、複数集落で構成する組織の広域化の推進を考えている。

(委員)

滋賀では共同取組活動への配分が多くなっているが、仮に耕作放棄地が発生し、全額遡及返還となった場合、集落内でどのように返還することになるのか。

(事務局)

十分な確認ができていないが、当県で全額遡及返還になった事例はなく、そういう事態に発展しないよう、市町・県は常々集落等に対して指導をしている。

(事務局)

また、農村地域には農業組合という組織があり、組合費を拠出して活動している。その組合の活動費を国からの交付金で充当している集落もあると思われる。そのため、このような事例があった場合、ひとつの考え方として、耕作放棄地を出したことはやむを得ないと合意形成が取れるのなら、組合が負担するのではないかと考えている。今後は、集落内で事前に取り決めを行い、国の要件緩和措置に取り組めるよう市町とともに支援指導していきたいと考えている。

(委員)

4期対策にかけ断念された集落の理由に役員への負担がある。世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策（多面的機能支払交付金）では、事務負担の軽減として広域化の動きが一部地域であります。中山間（地域等直接支払制度）でも広域化している事例はあるのか。

(事務局)

資料2の中で平成26年度に比べ協定数が減少している岩手県、新潟県で協定の広域化が図られたと聞いている。今後、これらの取り組みについて情報収集し、各市町や協定参加者に情報提供するなど、広域化の推進を図っていきたいと考えている。

○報告事項

(1) 世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策の中間評価等について

事務局から中間評価のスケジュールと制度の拡充について、資料4、資料5により説明を受けた。

以上